

VI 新市における東京都事業の推進

1 東京都の役割

新市のまちづくりにおいては、多摩地域の中でも公園、河川、道路などの都市基盤整備の遅れが目立っており、今後これらの計画的な整備が重要となっています。東京都は、新市と連携しながら、これらの事業の推進に向けて積極的に取り組んでいきます。

また、合併に伴う緊急かつ特殊な財政需要について、合併支援特別交付金により財政支援を行います。

2 新市における東京都事業

(1) 都市公園の整備

新市の一人当たりの公園面積は、多摩地域の中でも下位にあり、公園整備は新市のまちづくりの中でも重要課題の一つになっています。

東京都は、平成 11 年 2 月に都市計画変更を行った東伏見都市計画公園について、住民交流及び憩いやうるおいの拠点として、また、災害時における避難場所などの防災拠点として整備します。

(2) 河川の整備

東京都は、水害から都民の生命と暮らしを守るとともに、うるおいある水辺の形成や自然環境の保全・回復を図り、安全で快適な都市環境を創造することを目的に事業を推進してきました。

新市の南部を東西に流れる石神井川についても、これまで、河道改修や調節池の設置を行うことにより、水害の軽減を図ってきました。

現在、新市の下流端にあたる溜淵橋から弥生橋間 590m において事業中であり、この区間の上流についても、事業の進展状況を踏まえながら順次、事業化していきます。

また、事業の実施に当たっては、新市の重要課題である、新市における貴重な緑の基本軸形成のため、新市と十分な連携を図り、うるおいある水辺の形成や自然環境の保全・回復を進めていきます。

(3) 道路の整備

東京都は、都市機能の確保、地域環境の保全、都市防災の強化都

市空間の確保を基本目標として、これまで都市計画道路の整備を推進してきました。新市は急速な都市化などにより、多摩地域の中でも歩道のない狭隘な道路も多く、道路整備をはじめとした都市基盤整備は重要課題となっています。

また、ひばりヶ丘駅周辺は、新市のまちづくりの中で重点施策に位置づけられ、駅周辺の交通の円滑化が課題の一つとなっています。

東京都においては、今後も、新市と連携を図りながら、都市計画道路の計画的な整備を行うとともに、既設の都道についても歩道を整備し、歩行者の安全確保を図っていきます。